



【農林水産部】

「農林高等学校等における6次産業化に関する講演会」を開催しました

NO.6

9月4日に沖縄県立南部農林高等学校、11日には八重山農林高等学校において、「農林高等学校等における6次産業化に関する講演会」を開催しました。本講演会は、将来、地域農業の担い手と期待される農林高等学校などの生徒や学生に魅力ある農業への関心を深めてもらい、就農意欲の増進を図ることを目的としています。今後、県内の他の各農林高等学校や沖縄県立農業大学校でも開催する予定です。

いて説明を行うとともに、実際に6次産業化に取り組んでいる事業者の方を講師として事例紹介などを行っていきます。

南部農林高等学校では、農業生産法人株式会社福まる農場の崎原秀俊氏から自社ブランド豚「きびまる豚」を活用した取組について、八重山農林高等学校では、農業生産法人有会社伊盛牧場の伊盛米俊氏から自社牛乳などを活かした取組について、それぞれ講演していただきました。

農林水産部経営課
☎098-866-1628

【南部農林高等学校】



左/講師:崎原秀俊氏
下/講演会の様子



【八重山農林高等学校】



上/講演会の様子
右/講師:伊盛米俊氏



【農林水産部】

来年1月から 農業経営全体を対象とした収入保険が開始されます

NO.7

青色申告を行っている農業者(個人・法人)を対象に、平成31年1月から、品目の枠にとらわれず、自然災害や農産物の価格低下などの収入減少を広く補償する全く新しいセーフティネットの「収入保険」がはじまります。保険料の掛金率は1・08%で、農業者ごとに基準収入の8割以上が確保されます。

※保険金の受取りがなければ、保険料率は下がります。

米、さとうきび、野菜、果樹、花、たばこ、茶、しいたけ、はちみつ、山羊など、自ら生産した農産物なら原則どのような品目でも対象となります。

※肉用牛、肉用子牛、肉豚、鶏卵はマルキンなどが措置されているため、対象外です。

※収入保険と農業共済、ナラシ対策、野菜価格安定制度などの類似制度については、どちらかを選択して加入できます。

農業で新しい品目の導入、販路拡大などにチャレンジしたいんだけど、様々なリスクがあるんだよね～。

大丈夫、収入保険にまかせてください!

自然災害や鳥獣害などで収量が下がった



市場価格が下がった



災害で作付不能になった



けがや病気で収穫ができない



倉庫が浸水して売り物にならない



取引先が倒産した



盗難や運搬中の事故にあった



輸出したが為替変動で大損した



収入保険は様々なリスクから農業経営を守ります!!

加入条件や補償内容などは、以下の相談窓口にお問い合わせ下さい。

相談窓口	TEL
沖縄県農業共済組合	098-833-8188

農林水産省では、収入保険に関する様々な情報を公開しています。
http://www.maff.go.jp/j/keiei/nogyohoken/syu_kyosai.html

農林水産部経営課 ☎098-866-1628